



▼10月21日創立記念日・後期始業式挨拶▼

理事長 職務代理 島田 眞路

皆さん、はじめまして。この度8月19日、荻野前理事長に代わりまして理事長職務代理に就任しました島田眞路と申します。

随分驚かれていることと思いますが、5月の事件を受けて、理事長が辞任される中、理事会の決議によって、私が理事長の代行(職務代理)に推挙されました。

私は何者か?という疑問もあるかと思いますが、自己紹介致します。

私は本校第14期の卒業生です。洛星中高時代は野球部に所属しておりまして、西野文雄先生の厳しいご指導を受けた者の1人です。唯一の自慢は中3のとき、京都市中学野球大会で準優勝したときに3番センターで出場し、ヒット1本を打ったことです。

大学は東京大学理科三類(医学部)に洛星から現役で初めて合格しました。大学でも医学部の野球部に所属し、足掛け6年間を過ごしました。5年生の時にはキャプテンもつとめました。

1977年卒業後は、皮膚科を専攻しました。東京大学の助手などを経て、アメリカの首都ワシントン D.C.郊外にあります NIH(国立衛生研究所・・・これは世界最大の研究所です)に留学、トータル4年間を過ごし、皮膚の免疫学を徹底的に研究しました。帰国後は東京大学助教授などを経て、1995年山梨医科大学(現山梨大学医学部)教授になりました。それ以来、山梨県に住んでいます。

2009年には山梨大学病院長となり、3期6年間つとめ、2015年には学長になり、2回再選され、今8年目の最終年となります。

洛星とのご縁は、本年4月に改革が必要とのことで、監事になったことから、再度、始めました。1か月経ったところで、例の事件が起こり、監事として臨時理事会などに参加するうち、はじめに申しましたように理事長職務代理となったわけです。この20年間、大学や大学病院、また皮膚科学会理事長職等、組織のトップとして運営、改革を担ってきました。この度は、50年以上ご無沙汰していました故郷の母校、洛星中学校、高等学校を代表する立場で運営を、少なくとも来年3月まで担わせて頂きます。少々戸惑う面はありますが、愛する洛星が変わる一大チャンスでもあると思いますので、全力を尽くして改革に邁進するつもりです。

9月28日3年ぶりに開催された体育祭に50年ぶりに参加しました。生徒の皆さんの全力で必死で走る姿、熱心に応援する姿を見て感動しました。日焼けした黒い秀才になれ!という私達の時代の、文武両道をすすめるフランソワ・アラール校長先生のお言葉を思い出しました。皆さんにも同じ言葉を贈りたいと思います。人を思いやる心、愛をもって何事にも全身全霊で取り組めば、道は必ず開けるものと信じています。

改革は一人では成就不できます。生徒の皆さん一人一人の協力がぜひとも必要です。ご父兄の皆様、教職員と一丸となって取り組んでいきましょう。

なお、私の考え方をお知りになりたい方は、9月7日に日本記者クラブで講演しております。You tube で簡単にアクセスできますので、ご覧頂ければと思います。

山梨大学のホームページで学長からの発信もしておりますし、またネットで私の名を入れて検索して頂ければ(何回も炎上も経験していますので)色々な情報が得られます。ご覧いただき、ご意見などいただければ幸いです。